



◆経済産業省・令和7年度「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-tech 事業)」に採択されました

五稜化薬株式会社(本社:札幌市、代表取締役:丸山健一、以下「当社」)は、経済産業省の令和7年度「成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-tech 事業)」に応募し、採択審査委員会の厳正なる審査の結果、通常枠事業に採択されたことを、お知らせいたします。

北海道経済産業局からの開示 <https://www.hkd.meti.go.jp/hokig/20250627/index.htm>

■成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-tech 事業)とは

成長型中小企業等研究開発支援事業は、中小企業者等による精密加工、表面処理、立体造形等のものづくり基盤技術およびサービスの高度化を図ることを目的として、中小企業者等が大学・公設試等と連携して行う、研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組を支援するもので、令和7年度事業について2025年2月17日から4月23日まで公募が実施されました。

全国申請件数:253件(通常枠:241件、出資獲得枠:12件)

全国採択件数:124件(通常枠:119件、出資獲得枠:5件)

1. 採択案件の概要

1. 研究開発計画名

新規合成トリプシンに対する性能評価系の開発、およびヒト遺伝子配列型GMPTリプシンの国内製造開発

2. 主たる中小企業者等

五稜化薬株式会社(北海道)

3. 連携している大学・公設試等

公立大学法人大阪(大阪公立大学)

4. アドバイザー

キッズウェル・バイオ株式会社

ソレイジア・ファーマ株式会社

5. 事業管理機関

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター 略称:ノーステック財団(NOASTEC)

6. 研究開発の概要

新規合成トリプシンに対する自社特許化合物を用いた性能評価系を開発し、当該評価系に基づくヒト遺伝子配列型トリプシンの国内GMP製造開発を促進させる。これにより、日本国産業としての再生医療等製品の本格的な商業化を迎えるためのトリプシンの安定供給性や品質担保への要求を充足できるのみならず、膵臓癌手術における膵液漏の可視化技術の社会実装にまでも大きく寄与するものと確信する。

2. 【参考】五稜化薬について

蛍光プローブをヒト組織片に噴霧すると、数分でがん組織のみを選択的に光らせる世界初の新製品を開発・製造し、がんの外科的手術の際に活用するナビゲーションドラッグ事業(体外及び体内診断薬)を進めております。ナビゲーションドラッグ事業は、「Fluorescent Image-Guided Surgery(蛍光イメージング^(注1))を活用した外科手術支援(当社訳)」とも言われ、これからますます注目される分野です。

開発が先行している対象は、乳がん及び食道がんなどががん領域が主体で今後、多様ながんの手術時や健診時などで活用され、がんの早期発見・早期治療、再発予防、術後の早期回復に資する製品の開発・製造に注力する計画ですが、プラットフォーム技術である弊社技術の基本特性を生かし、これ応用することにより創出した蛍光プローブを、がん以外の組織に適用して光らせることが可能です。例えば、令和5年4月5日付にてプレスリリースした千寿製薬株式会社とのグローバル開発の正式契約締結の対象であるカルパインプローブは、がん以外の症例分野に開発を拡大していく具体的な可能性を示すものです。また、当社は、蛍光プローブ技術にて蓄積した知見やノウハウを転用して創出した新規治療薬候補品の開発も進めており、診断薬に留まらず治療薬も含めた多方面からの技術の社会実装を進めて参ります。

(注1) 蛍光イメージング:さまざまな蛍光色素や蛍光タンパク質にレーザーなどの光を当てることで、細胞や特定のタンパク質などの局在や動きを観察できるようにした手法。

<お問合せ>

五稜化薬株式会社

E-Mail :info@goryochemical.com